



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 菱電商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8084 URL <http://www.ryoden.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 正垣 信雄

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 宇野 悟

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	177,738	2.9	3,514	4.2	3,559	1.8	2,441	1.5
30年3月期第3四半期	172,651	11.3	3,371	136.8	3,625	201.4	2,478	223.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,616百万円 ( 52.5%) 30年3月期第3四半期 3,403百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	112.52	112.11
30年3月期第3四半期	114.25	113.92

当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	129,770	64,547	49.6	2,968.91
30年3月期	133,710	64,057	47.8	2,948.86

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 64,426百万円 30年3月期 63,971百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		11.00		26.00	
31年3月期		28.00			
31年3月期(予想)				24.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の1株当たりの配当金につきましては、第2四半期末は株式併合前の金額を記載し、期末は株式併合後の金額を記載しており、年間配当金合計は「-」と表示しております。

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	237,000	0.2	5,200	2.4	5,400	6.8	3,700	3.1	170.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	22,824,977 株	30年3月期	22,824,977 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	1,124,499 株	30年3月期	1,131,243 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	21,698,259 株	30年3月期3Q	21,690,863 株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)の30年3月期3Qを算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国が堅調さを維持し続けている中、中国は貿易摩擦などの影響で成長は鈍化を見せ、欧州でも景気は減速傾向となりました。今後の世界景気は、本格化すると見られる米中貿易摩擦などにより、先行き不透明感が強まる可能性があります。

国内経済においては、好調な企業収益を背景に、設備投資の増加や雇用の改善により、緩やかな回復基調にありますが、米中貿易摩擦による影響は、大きな懸念材料となっています。

当社グループの取引に関する業界は、FA関連の半導体製造装置は軟調でしたが、工作機械などは好調であり、設備関連及び産業機器関連も堅調に推移しました。また、自動車関連では米国向けは低調でしたが、国内・欧州向けは堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、事業環境の変化に適応した「グローバル・ソリューション・プロバイダー」として事業強化を進める中、顧客に徹底的に寄り添い、顧客ニーズを基点とした価値を創造し、顧客や市場における当社グループの存在価値を高め、収益性の向上を図ることを目的とした中期経営計画「CE2018 (Challenge & Evolution 2018)」の最終年度として、顧客ニーズに基づく提案活動への取組みをさらに加速させ、案件確保を進めています。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,777億38百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益35億14百万円(前年同期比4.2%増)、経常利益35億59百万円(前年同期比1.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益24億41百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

第1四半期連結会計期間より、全社に係る新規事業開発費用を事業セグメントに配賦しない方法に変更しております。当該変更は、社内の損益管理方法の変更に合わせて行ったものであります。また、第1四半期連結会計期間より、組織変更を契機に報告セグメント名称の見直しを行い、従来の「IT施設システム」を「ICT施設システム」へ変更しております。そのため、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を当該変更後の数値で比較しております。

#### ①FAシステム

【当第3四半期連結売上高342億38百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益15億14百万円(前年同期比12.6%増)】

半導体製造装置関連向けは軟調な推移となりましたが、工作機械、実装機並びに機器販売店向けが好調に推移し、増収となりました。

#### ②冷熱システム

【当第3四半期連結売上高198億63百万円(前年同期比7.6%増)、

営業利益6億26百万円(前年同期比171.2%増)】

大都市を中心とした大手設備業者向け案件並びに冷凍・低温分野が堅調に推移、また機器卸店向けが好調に推移し、増収となりました。

#### ③ICT施設システム

【当第3四半期連結売上高49億81百万円(前年同期比18.7%増)、

営業損失1億22百万円(前年同四半期は営業利益29百万円)】

情報通信分野及びメディカル分野におけるICTネットワーク関連機器が好調に推移、またビルシステム分野では大都市を中心とした建設市場の好況によりビル設備関連機器が堅調に推移し、大幅な増収となりました。

しかしながら、スマートアグリ分野での工期スライドによる販売管理費等の先行計上が大きく影響し、営業損失となりました。

#### ④エレクトロニクス

【当第3四半期連結売上高1,186億56百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益16億2百万円(前年同期比17.0%減)】

国内では、産業機器関連において主に中国向け工作機械、半導体製造装置などのFA関連ビジネスが後半減速しましたが、エアコンを中心とした白物家電関連ビジネスが堅調に推移、並びに、自動車関連の国内・欧州向け生産、またADAS(先進運転支援システム)関連ビジネスが堅調に推移し、増収となりました。

海外子会社では、中国地域において産業機器関連及びエアコン関連向け販売が前半好調に推移しましたが、北米地域において自動車関連製品の販売が低調となり、減収となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が17億13百万円、商品及び製品が20億7百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が44億61百万円、電子記録債権が5億37百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比39億39百万円減少し、1,297億70百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が25億88百万円、電子記録債務が13億73百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比44億29百万円減少し、652億22百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益を16億16百万円、配当金を11億71百万円計上したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比4億90百万円増加し、645億47百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比1.8ポイント増加し、49.6%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当社グループは、経営成績の向上と財政状態の安定を図り、資金需要に応じた一定の手許流動性を維持することを目的に、健全かつ効率的な財務活動を行っております。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比22億19百万円増加し、163億31百万円の残高となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、32億27百万円(前年同期比77億97百万円収入増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益35億68百万円の計上と、売上債権・仕入債務の減少並びにたな卸資産の増加によるネット資金の減少9億23百万円、法人税等の支払19億95百万円によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、5億59百万円(前年同期比4億18百万円支出増)となりました。これは主に、投資有価証券の売買によるネット支出3億86百万円、有形固定資産の取得による支出1億30百万円によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、3億44百万円(前年同期比4億66百万円収入増)となりました。これは主に、配当金の支払11億43百万円、短期借入金の増加7億99百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表いたしました数値から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,128	15,842
受取手形及び売掛金	58,573	54,111
電子記録債権	15,243	14,705
有価証券	247	572
商品及び製品	25,336	27,343
その他	4,735	2,420
貸倒引当金	△26	△25
流動資産合計	118,237	114,970
固定資産		
有形固定資産	4,702	4,631
無形固定資産	680	657
投資その他の資産		
その他	10,583	9,936
貸倒引当金	△494	△425
投資その他の資産合計	10,089	9,511
固定資産合計	15,472	14,799
資産合計	133,710	129,770
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,399	42,811
電子記録債務	12,464	11,090
短期借入金	795	1,574
未払法人税等	1,405	438
その他	3,551	3,614
流動負債合計	63,615	59,530
固定負債		
退職給付に係る負債	4,718	4,566
その他	1,317	1,126
固定負債合計	6,036	5,692
負債合計	69,652	65,222
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,399	7,405
利益剰余金	45,340	46,609
自己株式	△850	△845
株主資本合計	62,224	63,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,305	1,414
為替換算調整勘定	710	608
退職給付に係る調整累計額	△1,267	△1,100
その他の包括利益累計額合計	1,747	922
新株予約権	86	121
純資産合計	64,057	64,547
負債純資産合計	133,710	129,770

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	172,651	177,738
売上原価	154,973	159,546
売上総利益	17,678	18,192
販売費及び一般管理費	14,306	14,678
営業利益	3,371	3,514
営業外収益		
受取利息	36	50
受取配当金	127	114
持分法による投資利益	34	41
為替差益	42	—
その他	145	188
営業外収益合計	384	396
営業外費用		
支払利息	21	27
売上割引	69	41
為替差損	—	233
売上債権売却損	29	26
その他	11	21
営業外費用合計	131	350
経常利益	3,625	3,559
特別利益		
投資有価証券売却益	1	8
特別利益合計	1	8
税金等調整前四半期純利益	3,626	3,568
法人税等	1,148	1,126
四半期純利益	2,478	2,441
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,478	2,441

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	2,478	2,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	827	△890
為替換算調整勘定	△44	△101
退職給付に係る調整額	142	167
その他の包括利益合計	925	△824
四半期包括利益	3,403	1,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,403	1,616
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,626	3,568
減価償却費	378	365
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△38
受取利息及び受取配当金	△163	△165
支払利息	21	27
持分法による投資損益 (△は益)	△34	△41
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,743	4,940
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,654	△2,049
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,198	△3,814
その他	△836	2,286
小計	△4,203	5,078
利息及び配当金の受取額	178	171
利息の支払額	△19	△26
法人税等の支払額	△525	△1,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,570	3,227
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	—	101
有形固定資産の取得による支出	△88	△130
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△243	△101
投資有価証券の取得による支出	△422	△410
投資有価証券の売却による収入	534	24
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△16	△58
その他	94	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140	△559
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	121	799
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2	△0
配当金の支払額	△930	△1,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△811	△344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,556	2,219
現金及び現金同等物の期首残高	19,163	14,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,607	16,331

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A システム	冷熱 システム	I C T施設 システム	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,923	18,459	4,197	117,071	172,651	—	172,651
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0	0	△0	—
計	32,923	18,459	4,197	117,071	172,651	△0	172,651
セグメント利益(営業利益)	1,345	230	29	1,930	3,536	△164	3,371

(注) セグメント利益の調整額△164百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△164百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A システム	冷熱 システム	I C T施設 システム	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,238	19,863	4,981	118,656	177,738	—	177,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	—	0	△0	—
計	34,238	19,863	4,981	118,656	177,739	△0	177,738
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	1,514	626	△122	1,602	3,621	△107	3,514

(注) セグメント利益又は損失の調整額△107百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△107百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、全社に係る新規事業開発費用を事業セグメントに配賦しない方法に変更しております。当該変更は、社内の損益管理方法の変更に合わせて行ったものであります。また、第1四半期連結会計期間より、組織変更を契機に報告セグメント名称の見直しを行い、従来の「IT施設システム」を「ICT施設システム」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法及び報告セグメント名称により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

ご参考までに、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

#### 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(78.4%) 135,408	(10.5%) 18,097	(7.0%) 11,979	(2.7%) 4,674	(1.4%) 2,490	(21.6%) 37,242	(100.0%) 172,651

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）

#### 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(80.4%) 142,921	(10.0%) 17,821	(6.4%) 11,439	(1.9%) 3,324	(1.3%) 2,232	(19.6%) 34,817	(100.0%) 177,738

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。